

高等教育での情報保障を得る ための自助努力

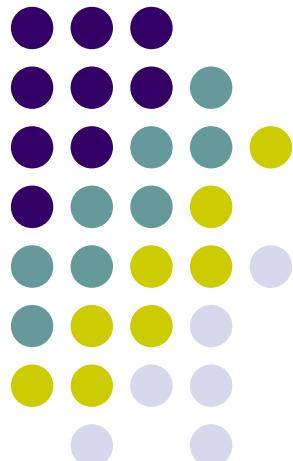
Dr. T. Alan Hurwitz, Vice President and Dean, NTID/ RIT

Dr. Denise Kavin, Senior Project Access, PEN-
International, NTID/RIT

PEN-International Leadership Institute for Deaf and Hard of
Hearing Students

2006年8月

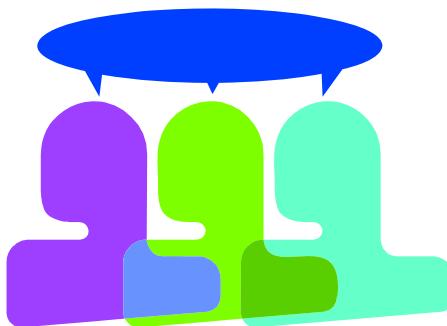
英国イーストサセックス、ハーストマンスー城





経験を分かち合う・・・

- Dr. Hurwitz
- Dr. Kavin
- 学生
- 今週学んだこと
- 聴覚障害学生高等教育の向上



情報保障サービスと支援サービス を定義する



情報保障サービス- 教室における情報や資料を入手
すること

通訳

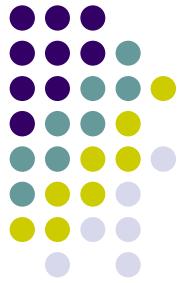
- 手話
- 口語
- 視聴覚障害者および視覚障害者



ノートテイキング

- 有料
- ボランティア

情報保障サービスと支援サービス を定義する



情報保障サービス-教室における情報や資料を入手す
ること

キャプション

- 音声認識
- ビデオ

補聴援助装置



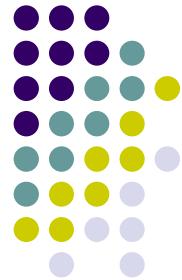
情報保障サービスと支援サービス を定義する



支援サービス- 大学での学生の成功率を向上させる

- 個人カウンセリング
- 学業、キャリア、就職相談
- チュータリング
- 試験場の配慮
- テクノロジー





自主的決定とは何か

- 自分の人生に、最大限まで決定権を持つ
- それは全部自分ですることではなく、自分のニーズを知ってもらい、どのように支援したらよいかを指導すること
- 障害者が、家族、友人、職員、その他がひとつになって働くようにする努力を導く
- すべてが事前に決められているのではない



自助努力とは何か

- 成功するための自分のニーズを認識する。
- 自主的に決断を下す。
- 自分のニーズをはつきり伝え、サービスを依頼する
- 自分のニーズを擁護する。
- サービス提供の責任者である主要人物とコミュニケーションを行い、交渉する。





自助努力とは何か

「自助努力が上手な者は、どうやって質問をし、どうやって他の人々から助けを得たらよいか知っているものである。他の人々に全部やつてもらったり、ただどうするかを告げるだけということはしない。自助というのは自己主張である。自己主張が出来る人間というものは他の人間に対して自分は何を欲しているか、何が必要かを告げるが、要求することはしない。他の人間の権利や気持ちを尊重するのである。自分たちの考え方について他の人々と話し合う。指導を求めて質問をし、情報を再検討した上で自分自身で決定を下す。強い感情はあるかもしれないが、決定を下すときには客観的であろうとする」

(引用：“Transition and Self-Advocacy”, Integrating Transition Planning into the IEP process, Second Edition, 1999)



自己認識

自助努力をし、サービスを要請する前に、自己認識を高める必要がある：

- 自分の学習の仕方
- 自分の長所
- 進歩が必要な分野
- 自分の興味
- 自分の優先事項
- 自分の目標
- 自分に必要な配慮





自助努力の方法

- 攻撃的な態度と積極的な態度の違いを知る
- 自分の権利と責任についての認識を深める
- 自分自身の責任を取る
- 自分の障害とニーズをはっきりと表現できる
- コミュニケーション技術、交渉技術の向上に努める
- 各種の配慮方法を試してみる



自助努力の方法

- 各種の作業グループに違った人を配置する(いつも同じ人間を使うことはしない)
- 学内行事運営に参加する
- 支援グループを作る。最初は小さくても構わない！
- 読んで、読んで、読む
- 間違いから学び、成長する
- 人間関係作り！





自助努力についてある筋書き

- これまで聴覚障害学生が入ったことがない専攻へ入る許可を得る
- 試験時間の延長を要請する
- 個人指導の支援を要請する
- 可能であれば、ボランティアではなくプロのノートテイキング・サービスを要請する
- 全学の委員会の委員任命を要請する



参考文献

- “Self-Determination” article by Michael Kennedy, <http://thechp.syr.edu/mikeself.htm>.
- “Self Advocacy: Speaking for Yourself” article by Michael Kennedy & Patricia Killius, recorded and edited by Deborah Olson, 1986, <http://thechp.syr.edu/saspeak.htm>.
- “Integrating Transition Planning Into the IEP Process (Second Edition), by West, Corbey, Boyer-Stephens, Jones, Miller & Sarkees-Wircenski, Council for Exceptional Children, 1999.
- “Self-Advocacy for College Students”, by Goldhammer & Brinckerhoff, National Center for Learning Disabilities, 1993, http://www.Idonline.org/ld_indepth/postsecondary/ncll_selfadv.html



資料

- Handbook of Templates(サンプル・ハンドブック). 支援サービス提供者、教員、学生用ハンドブック作成のためのもの。

<http://sunsite.utk.edu/cod/pec/products.html#h>

- Northeast Technical Assistance Center at NTID/ RIT Tipsheets (助言シート). 聴覚障害関連の各種テーマに関する簡略な情報提供助言シート。

<http://www.netac.rit.edu/publication/tipsheet>



資料

- PEPNet “Online Orientation to Serving College Students who are Deaf or Hard of Hearing (聴覚障害大学生サービスのためのオンライン・オリエンテーション)”。聴覚障害関係の領域で働くことを考えている教育者、サービス提供者、雇用者、学生の準備のためのオンライン・トレーニング。www.pepnet.org
- “Achieving Goals!(目標達成！)” 聴覚障害者の職業経験談。各種の職種で成功している聴覚障害者を取り上げたビデオ・シリーズ。

<http://www.netac.rit.edu/goals/menu.html>



資料

- “Make a Difference: Tips for Teaching Students who are Deaf or Hard of Hearing(効果を上げる:聴覚障害学生を教えるときのヒント).” あらゆる教育状況で聴覚障害学生を教える教員のためのCD。
<http://www.pepnet.org>. PEPNet Resource Centerで入手可能、Product #1151。
- Project Access/ Class Act(プロジェクト・アクセス/クラス・クト), NTID at RIT, Rochester, New York, U.S.A. (<http://www.rit.edu/~classact>)